

実施クラス	実施日	実施保育者名
4・5 歳児 みかん・めろん 組	2 月 27 日 (金)	木村・三森

● 実施計画

活動テーマ		
からだってなにがある？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
・体操や大型絵本を通じて、自分のからだに興味を持ち始めている		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	【環境】
11:00	探求活動① ・体のパーツを触って名前を言う・からだの動きや感覚を使った遊び (かけっこ、ダンス、手遊び) ・体を使って表現する運動遊び (リズム遊び、リトミック、KidsAthle) ・鏡を使った顔の表情観察、絵画活動 ・保健指導 ・ゲームや手遊び	・座って話せるスペースを確保する ・タブレット・モニターのコード類は子どもが引っ掛からないよう整理する ・子どもが失敗を恐れず自由に試せるよう、温かく見守る雰囲気作り ・視覚的に英語や探究テーマに関するものを貼り、興味を引き出す
11:15	英語活動① ①Hello Song ②head, hand, foot, eyes, nose mouth など ③V~Z ④Wash your hands. →All right. →Dry your hands. →Done. ⑤歌「Head, Shoulders」 「Knees and Toes」 ⑥発展:絵本・クイズタイム・体操 ⑦おわりのあいさつ	【準備物】 ・パパッと英語タブレット ・モニター ・ホワイトボード、マーカー

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・からだのパーツクイズをすると、日本語であったが、拳手をして答えていた。「英語ではなんて言うんだろう？」というところから英語活動につなげた。 ・体操やリトミックなども取り入れ、からだを動かし、楽しめるようにした。 ・活動終了後も体操やリトミックと結び付けながら、興味が続くようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズでは、英語のわかる友達に「英語だとなんて言うの？」と聞く姿もみられた。 ・Head, shoulders, knees, And Toesが盛り上がり、楽しみながら、からだの部位を覚えていた。 ・体操やリトミックの最中に、からだの部位を指さして、英語を発する子どももいた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きや感覚を体験することで言葉が覚えやすくなると感じた。 ・引き続き日々の体操やリトミックなどの日常生活の中にも取り入れていきたいと思った。 ・からだの探究は健康教育の基盤にもなるため、良い導入のきっかけともなった。 ・子ども同士で質問し合ったり、疑問を共有することで、コミュニケーションも深まっていると感じた。 	<p>五感を使ったアプローチが、言葉の習得だけでなく人間関係の構築にも良い影響を与えていて素晴らしいです。</p> <p>「からだの探究」を健康教育の入り口にするという視点も非常に鋭いです。リトミックなどの動的な活動と、対話という静的な活動がバランスよく組み合わせられています。</p> <p>「自分の体を知る」ことは、自分を大切にする心、自己肯定感に繋がります。疑問を共有し、子どもたち同士で解決しようとするコミュニケーションの深まりは、クラスの絆が育っている証拠です。この良い流れを、ぜひ日常の何気ない瞬間にも広げていってください。</p>